

哲學研究

第五百八十一號

平成十八年四月十日發行

形而上学……………	小林道夫
ライプニッツにおける数理と自然の概念と	
京都学派と宗教哲学……………	氣多雅子
——西田幾多郎から西谷啓治へ——	
ラッセルの論理主義における非基礎付け主義	
……………	久木田水生
……………	
アリストテレスと西谷啓治……………	小野真
……………	
色と音声のパラレリズム……………	小林剛
——アルベルトゥス・マグヌスの聴覚論——	
彙報	

京都大學大學院文學研究科内

京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学の中から互選により代表一名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、委員会の中に「哲学研究」の編集委員会をおく。
- 五、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 六、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 七、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）を前納する。
- 八、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 九、本会は事務所を京都大学大学院文学研究科内におく。
- 十、規約の改正は委員会の決定による。

*
 福根中中徳出田杉櫻小氣川片落苧内宇伊伊伊板池芦蘆赤
 谷立村畑永口中村井林多添柳合阪井美藤藤藤倉田名田松
 研俊正宗康紀靖芳道雅信榮恵直惣文邦公和昭秀定 明
 茂介春志雄夫行彦雄夫子介一子行七理武雄行二三道宏彦

京都哲学会委員

藤田正和
 藤田素二
 松谷雅己
 水牧克己
 御崎
 宮崎泉
 (* 京都哲学会代表)

彙報

一 京都哲学会公開講演会記事

恒例の京都哲学会公開講演会は平成十七年十一月三日(木)午後一時半から、京都大学大学院文学研究科新館第三講義室において左記の如く行われた。

一、インドにおける哲学史の二つの系譜

京都大学大学院文学研究科教授 赤松 明彦

一、デカルトとライブニッツにおける数理と自然の概念

京都大学大学院文学研究科教授 小林 道夫

講演会は数多くの会員の方々の出席を得て盛会であった。また講演会終了後、京大会館において懇親会をもち、多数の会員が講演者ととも討論と歓談のひとときを過ごした。

二 外国人学者来訪講演会記事

平成十七年七月より同年十二月末までに、京都大学大学院文学研究科の旧哲学系諸研究室の主催ないし共催のもとに行われた外国人学者による講演会は、次の通りである。(なおCOE関連で開催された講演会には含まない。)

カール・カッセゴール博士 (Göteborg University 東洋アフリカ言語文化研究所)

「スウェーデンから見た日本社会」

平成十七年七月八日 於京都大学文学研究科新館第六講義室

「社会運動における EXIT と VOICE」

平成十七年七月二十二日 於同館社会学共同研究室

Prof. Dr. Lambert Schmitzhausen (コンネクト大学)

「Reconsidering the status of plants in early Buddhism」

平成十七年十月八日 於同館第一講義室

前号目次

特集「始源の思索」

On the Origin of the *Lesyts*

..... Muneo TOKUNAGA

根源の現れとしての文の意味と直観

..... 赤松 明彦

アティンシャの論理学に対する立場

..... 宮崎 文泉

中国藝術理論史序説..... 宇佐美 文理

メノンのパラドクス、想起、仮設法、

根拠の推理とラリサへの道

—古代ギリシア哲学における本格的認識論

の始まり—..... 金山 弥平

ロゴスとミュートス..... 國方 栄二

* * コミュニケーションと倫理学(下)

..... 水谷 雅彦

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けませ
 ん。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学大
 学院文学研究科内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇
 一―四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇
 円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）をお支払下さい。又
 会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に関
 する一切は東京都千代田区麴町二―六―七創文社（振
 替口座〇〇―二〇―〇一―九二四七二）宛に願います。
 一、会員の転居・入退会の事務及び編集事務の一切は京
 都哲学会宛に御通知下さい。
 一、本誌の編集に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本
 会宛にお送り下さい。
 一、本誌への論文の投稿は、原則として本会会員のみ受
 付け、掲載の可否については、編集委員会と編集委員
 会で委嘱した委員（若干名）の査読を経て、編集委員
 会で決定する。（本会主催の公開講演会の講演原稿の
 掲載など、編集委員会依頼による論文掲載について
 は、この限りではない。）

京 都 哲 学 会

千六〇六一八五〇一
 京都市左京区吉田本町
 京都大学大学院文学研究科内
 〇七五―七五三―二七三三

平成十八年 四月 五日 印刷
 平成十八年 四月 十日 発行

編集兼
 発行人 京都大学大学院文学研究科内
 京 都 哲 学 会
 編集委員

伊 藤 邦 武
 氣 多 雅 子
 内 井 愼 七
 赤 松 明 彦

発 売 所 株式会社 創 文 社

久 保 井 浩 俊

〒一〇二―〇〇八三
 東京都千代田区麴町二―六―七
 電話 〇三―三二六三―一七〇一
 振替 〇〇―二〇―〇一―九二四七二

印刷所 株式会社 曙印刷

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七
 三円）前金にてお送り下さい。

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 581

April

2006

Articles

*La métaphysique de Leibniz et ses conceptions
des mathématiques et de la physique*... Michio KOBAYASHI

Kyoto-Schule und Religionsphilosophie
— von Kitaro NISHIDA zu Keiji NISHITANI — ... Masako KETA

Non-foundationalistic interpretation of Russell's logicism
..... Minao KUKITA

Aristotle and Keiji Nishitani Makoto ONO

Parallelism of Color and Voice
— *Albert the Great on the sense of hearing* — ... Go KOBAYASHI

Notes

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University
Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-4 定価 2,625 円 (5%税込) 本体 2,500 円